

・・・10月28日（火）学校施設及び子どもたちの学習活動を視察・一年生と給食を共に・・・

午前11時、横浜市立下田小学校を横山 港北区長が訪問。

昭和37年に日吉台小学校から独立開校。以後、創立50年を過ぎ地元根付いた公立小学校として地域とともに歩む小学校として発展してきました。校内の施設も充実しており、多目的スペースや広い校庭など子どもたちの学習環境は充実しています。



屋上にあるプールを視察する横山区長(左)



中学年の音楽の授業を参観



算数の学習活動を授業参観



各学年の教室を巡回し、子どもたちと触れ合う

地域コーディネーターの部屋も位置づけられていました。



低学年の学びを見つめる横山 港北区長



一年生の教室で給食に招待され歓迎されました。



今日の献立を紹介する子どもたち



横山区長が子どもたちに挨拶



子どもたちと一緒に給食を食べました。



今日は、山菅 校長先生も一緒に



子どもたちの笑顔に横山区長も思わず・・・。



学校支援連携担当 中田課長も子どもたちと。



給食が終わってみんなで輪になり、「となりのトトロ」を合唱してくれた一年生。



子どもたちと手を繋いで、楽しいひと時。心が温くなりました。すっかり癒された時間でした。



○ 校長室で山菅校長先生から、「開校 50 周年を過ぎてますます地域の方々の学校への思いや期待が強く学校への協力体制がしっかり確立されて本当に感謝しています。」と述べられていました。

下田小学校では、3年生以上に「教科担任制」を導入し、学年を担当だけでなく他のクラスの先生に教科を受け持ってもらい、学年全体で子どもたちの教育活動に着手している様子を伺いました。

子どもたちの元気なあいさつと真剣な学習態度が印象的でした。

横山区長は「子どもたちと触れ合うと、本当に癒されます。」と感想をもたれていました。